

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日更新

事務事業名		地球温暖化防止啓発事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	野口 政浩
	施策	22	地球温暖化防止対策の推進				所属課	環境衛生課	担当者名	泉田 聡
	施策の柱	64	地球温暖化防止対策の推進				所属班	環境衛生班	(内線)	1145
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番10180	根拠法令	地球温暖化防止対策基本法		成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ⑪
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市民に地球温暖化を理解していただくため、地球温暖化防止についての啓発、周知を図る。地球温暖化に伴う地球環境の悪化により、エコ製品の開発やCO2削減の取り組みは今後ますます進むと予想される。本市においてもこの問題に対する関心を深め、市民の意識改革を図るための啓発を行う。
【業務の流れ】	県から委嘱されている地球温暖化防止推進員4名と協働で、地球温暖化防止に取り組む活動(エコまつり等)で必要な環境学習資材を購入する。
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
広報・ホームページ掲載。合志市エコまつりの開催、地球温暖化防止推進員による市内保育園での啓発活動を行った。		県委嘱の温暖化防止推進員4名と協働で、地球温暖化防止に関する活動を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 広報掲載回数	回	地球温暖化防止啓発のための環境学習用資材の消耗品費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
⇒ イ 市民		⇒ ア 人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
⇒ イ 環境問題に対し興味を持ってもらい、市民の意識向上を図る。		⇒ ア 環境学習会参加者数
* ③ 成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市民への地球温暖化防止啓発の機会である、出前講座やエコまつり等を開催することにより、成果指標を「環境学習会参加者数」とした。目標値については、「2,000人」と設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	回	1	1	3	2	3	3	3	3
	イ									
② 対象指標	ア	人	59,067	60,008	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	62,500
	イ									
③ 成果指標	ア	人	3,000	5,000	2,000	5,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ									
投資入費量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		10		10	10	10	10
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	40	37	30	40	40	30	30
		(A) 事業費計	千円	40	37	40	40	50	40	40
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	0	5	4	5	5	5
人件費	延べ業務時間	時間	150	0	330	150	330	330	330	330
		(B) 人件費計	千円	597	0	1,314	0	1,314	1,314	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	637	37	1,354	40	1,364	1,354	40

事務事業名	地球温暖化防止啓発事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した 啓発機会のエコまつりにおいては、こうし健康まつりと同時開催したため、参加者数が多かった。
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 近年の実績を考慮し設定しており、また地球温暖化防止についての啓発、周知を図ること、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 市民全体への周知、啓発を図るため、あらゆる方策を模索していきたい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業を実施するために必要最低限の事業費であり、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業に必要な最低限の人件費であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市民全体への啓発事業であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 住民や地域・団体への移行は可能であるが、地球温暖化防止についての啓発、周知は行政の責務である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度のエコまつりは、こうし健康まつりと同時開催したため、参加者数が多かった。平成29年度も地球温暖化防止活動推進員と連携を図りながら、エコまつりの実施と環境学習活動への協力をしていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善 (有効性改善)
☒事業のやり方改善 (効率性改善) ☐事業のやり方改善 (公平性改善)
☒現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)
 他のイベントと協力し、参加者の増加を図る。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策